



アトラクションでは、新庁舎の開所を祝う荒獅子（家串祭り保存会）が披露されました。



9/2 愛南町新庁舎で開所式を実施しました

愛南町新庁舎で開所式を開催しました。式典には関係者や住民約300名が出席し、新庁舎の完成と愛媛県との合同庁舎の開所を祝いました。

清水雅文町長は愛媛県との合同庁舎化にあたり「防災上の連携はもとより利用者の利便性向上、共有による維持管理コストの縮減、県職員から学ばせていただくことによる町職員のスキルアップに大きな意義がある」とあいさつ。中村時広愛媛県知事は「様々な要素を考えたとき、この合同庁舎が必ず地域住民のプラスに繋がることを確信している。これを成功事例に結び付けて、より一層県と市町との連携が強化されるきっかけになることを心から期待している」と述べました。

9/28 小学生がオリジナルCMでPR トレッキング・ザ・空海あいなん

柏小学校の3、4年生が11月19～20日に行われるトレッキング・ザ・空海あいなんをPRしようとオリジナルCMを制作しました。

CMでは遍路を始めたといわれる衛門三郎や弘法大師、ご当地アイドルに扮した小学生が登場、今年が60年1度の弘法大師に会えるといわれる年であることやトレッキング・ザ・空海参加者への特典をPRしました。

CMに出演した芝崎百華さん（9歳）は「楽しかった。大きな声でできたのでよかった」と満足そうに振り返りました。



あんなことや、
こんなこと—TOWNコミュ

本日!海日和!! vol.72 「笑顔」



ハリセンボン

「女心と秋の空」とか、「男心と秋の空」など、秋の空はコロコロと変わりやすいたとえとして使われる。逆に「死んだ魚の目」のように、魚は表情がないたとえとして使われることが多い。

長年、魚の写真を撮ってきたが、泣いたり笑ったりしている魚を見たことはない。表情を感じることの少ない魚だが、正面から見ると、どこか見覚えのある人の顔に見えてしまい、思わず笑ってしまうことがある。

笑いは人間の特権だともいわれているが、写真のハリセンボンは、どう見ても笑っているようにしか見えない。笑っているのか本当のところは不明だが、こんな笑顔を見たくてついつい海に通ってしまう。

美しい海の中では、私も笑顔になる。愛南の魚たちもきっと笑っていることだろう。

(撮影地：瀬ノ浜)

愛南サンゴを守る会 西尾知照 ともてる

9/28 元気いっぱいカラオケ大会

町老人クラブ連合会による「第3回カラオケ大会」が御荘文化センターで行われ、会員から選ばれた35名が出場して、自慢ののどを披露しました。大会終了後は、応援者を含む376名による「お楽しみ抽選会」で盛大に盛り上がりました。

大会中は、熊本地震災害により被害を受けられた方々を支援するため募金箱が設置され、43,699円の義援金が集まりました。この義援金は、愛媛県老人クラブ連合会を通じて、熊本県老人クラブ連合会へ寄付されました。町老人クラブ連合会は「皆さまの温かいご支援、ご協力に感謝申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます」と話しました。



10/1 愛南の熱い夜 観衆600人を魅了 Jazz in 四国（愛南町）2016

御荘文化センターで音、人、食のセッションをテーマに「Jazz in 四国（愛南町）2016」（主催同実行委員会）が開催されました。

3回目となる今年は栗田敬子トリオ、金子マリ presents 5th Element will、坂田明トリオ、渋谷毅オーケストラの4組が出演。5時間半にわたっ

て熱のこもった演奏を披露し、満員の観衆約600人を魅了しました。

高知市から訪れた竹村さん夫妻は「どの演奏もとってもすばらしい。スタッフも一生懸命に取り組んでいてとても親切。また来たい」と笑顔で話しました。



9月30日には平城小学校体育館で「Jazz in 四国（愛南町）2016」の出演を翌日に控えた渋谷毅オーケストラを迎えて「子供たちのためのジャズ演奏会」が開催されました。

ジャズの魅力を感じてほしいとJazz in 四国（愛南町）2016 実行委員会が企画したもので、児童や地域住民約250人が本物の音を体感しました。

古川和^{のどか}さん（12歳）は「ジャズは初めて聞いたけど、とても迫力があつた。手作り楽器を使ってみんなでリズムに乗れて楽しかった」と振り返りました。

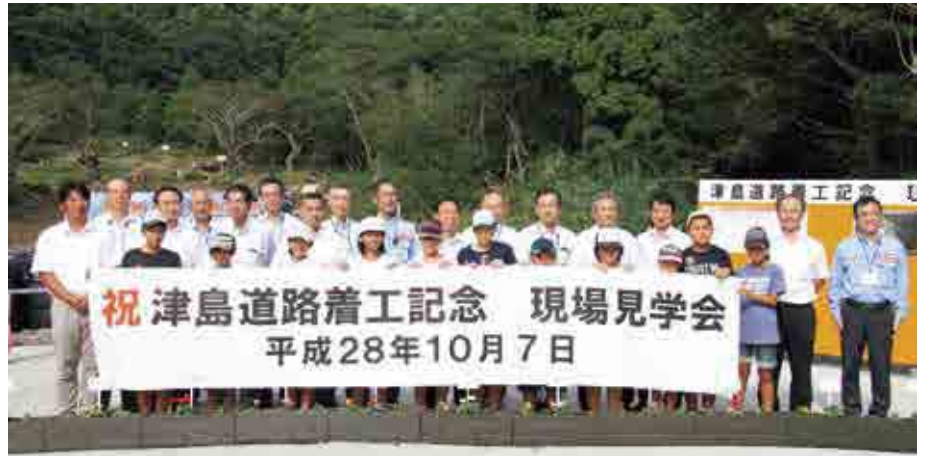


10/7 津島道路の工事はじまる 柏小5、6年生が現場見学会

柏川橋（仮称）工事現場で津島道路の初めての工事着工に合わせて柏小学校の児童5、6年生（11名）を対象にした工事現場見学会が行われました。

見学会を通じて道路整備の役割を理解し土木工事への興味を持ってもらうおうと国土交通省大洲河川国道事務所が企画したもので、石原弘之副所長が事業の説明をした後、子どもたちは用意されたプランターに花を植え、津島道路への思いを書いたプレートを取り付けました。

6年生の浜田愛果さん（11歳）は「ふるさとの自然と津島道路が共存できるように、素敵な道路を作ってほしい」と話しました。



10/17 無投票での再選が決まり 清水雅文氏へ当選証書が付与

任期満了に伴う愛南町長選挙が10月11日に告示され、現職以外に届け出がなく、清水雅文氏（66）＝無所属の無投票での再選が決まりました。

10月17日に当選証書付与式が愛南町役場で行われ、選挙管理委員会の河島益水委員長より、清水雅文氏へ当選証書が付与されました。



10/20 城辺小5年生がタイの養殖場見学 遠隔事業で事前学習も

地域産業への理解を深めようと城辺小学校の5年生児童48名がマダイ養殖の安高水産でマダイのエサやり、愛南漁協で競りの様子を見学しました。ぎょしょく授業の一環として行われたもので、初めてマダイの養殖場を見学した松岡柚太郎くんは「マダイのエサやりやロボットが網を掃除の様子を見て漁業の仕事に興味が増えました。たくさんの方が仕事をしていることもわかったので、これからもっと水産業の方に感謝して魚を食べたいと思います」と話しました。

見学授業が行われる2日前には、愛南町と愛媛CATV愛南局が連携して、高速無線通信「WiMAX（ワイマックス）」を用いた遠隔ぎょしょく授業が初めて実施されました。今回、安高水産の協力で深浦沖の養殖場と城辺小学校が生中継で結ばれ、児童らは漁業者の方からエサの成分や給餌方法について授業を受けました。給餌機からエサが飛び出す様子がスクリーンに映し出されると児童から大きな歓声が上がりました。

